

令和6年度 第6回 都賀地域会議会議録

令和6年9月24日(火)
栃木市都賀総合支所 別館大会議室

都賀地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度第 6 回 都賀地域会議
開催日時	令和 6 年 9 月 2 4 日（火） 1 9 時 0 0 分 開会 1 9 時 5 8 分 閉会
開催場所	都賀総合支所 2 階大会議室
出席者氏名	別紙 1 のとおり
欠席者氏名	別紙 1 のとおり
事務局職員職氏名	別紙 1 のとおり
その他出席者等	別紙 1 のとおり
会議事項	別紙 2 のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0 人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 事務局	1 開会 1 9 時 0 0 分事務局より開会を宣言。 2 あいさつ 大塚会長より挨拶。 本日の出席人数について事務局に報告を求める。 都賀地域会議委員総数 1 5 名中 1 2 名出席と報告。 地域づくり推進条例第 9 条第 2 項の要件を満たすため、本会議の成立を宣言する。
会長 担当課 会長 A 委員 担当課 B 委員 担当課	3 議事 議事（1）栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について 【担当課：都市計画課】 （説明） 担当課に説明を求める。 資料に基づいて説明する。 委員へ意見及び質問を求める。 地図や写真等はなるべく大きく見やすいように挿入してもらいたい。 了解した。 出来上がったものは住民へ配布するのか。 本庁及び各総合支所に設置を予定している。また、市 HP にも掲載する予定である。 「防災指針」については、ハザードマップを参考に居住誘導区域等における災害リスクの分析と課題の抽出を行うことが主な目的であり、戸別配布は

	想定しない。防災関係の資料については、ハザードマップが各戸に配布されている。
B 委員	折角「防災指針」を作成するのであれば、文章をもっと分かり易くした概要版などを検討してはどうか。
担当課	了解した。概要版の作成については、検討する。
会長	他に意見あるか。
委員一同	意見なし。
	議事（２）栃木市産業基盤成長戦略（素案）について 【担当課：産業基盤整備課】
	（説明）
会長	担当課に説明を求める。
担当課	資料に基づいて説明する。
会長	委員へ意見及び質問を求める。
A 委員	過去、業種によって立地出来るエリアと出来ないエリアがあったかと思うが、そういう区分けがあるのか。
担当課	例えば、国道や県道などのアクセスに有利な箇所については、物流業や製造業などの誘致を検討するといった地域特性を考慮していきたい。
A 委員	過去、都賀地内の業者が立地を検討した際、業種が異なるため許可されなかったエリアがあったと聞いた。そういったことが事前に把握できるよう周知については十分に留意願いたい。
	また、産業用地面積の拡大について、目標値が数値だけではイメージが難しい。例えば東京ドームで言えば何個分に相当するのか。
担当課	誘致については、地域に限定せず栃木市全域を検討した上で、その業種に適したエリアを提供していきたい。また、地元地権者の希望にも沿えるような誘致を図っていきたい。
	産業用地面積の目標値については、約 4 6 ha 増となっている。東京ドームで言えば約 1 1 個分である。
C 委員	立地条件が良い地域はそうかもしれないが、悪い地域は例えば鳥獣害がひどい。住みやすいところだけ開発行為を実施していないか。
担当課	今回の成長戦略は立地検討の一つの参考として示すもの。必ずしも産業用地へ誘導するものではない。現在の場所で事業拡大を検討したい場合は、当課が窓口となり関係各課と調整を図ることも可能である。パブリックコメントだけでなく、市内約 700 社の企業へもアンケートを実施し、その意向を落とし込むことで可能な限り企業に寄り添った取り組みとしていきたい。
D 委員	この産業基盤成長戦略の策定については、県内では栃木市が初めてか。また、他の都道府県では事例があるのか。
担当課	産業基盤に特化した成長戦略は、県内だけでなく関東近郊でもあまり事例がないと思われる。ただし、県や政令指定都市などでは、産業基盤だけでなく、商業・観光などの産業振興全般を推進する産業成長戦略を策定している。

会長 委員一同	他に意見あるか。 意見なし。
会長 事務局	議事（３）地域予算提案制度の報告について 事務局に説明を求める。 資料に基づいて説明する。 前回、令和７年度実施分の地域予算提案が決定したので改めて報告する。 事業費は合計で５，１６２千円。 １．都賀地域交通事故防止対策事業：３９９千円。都賀地域内の小中学生及び高齢者を対象に、スクアードストレイト交通安全教室を行う。小中学生が終了したので、今回は高齢者を予定。 ２．都賀総合支所開庁記念事業：３，２６７千円。若者や子供が集い、地域の伝統芸能に触れ、楽しめるイベントの開催を目的として、開庁記念事業と合わせて中止していた都賀地域の祭りを開催する。 ３．つがの里活性化事業：２１８千円。つがの里を観光やイベントの拠点とし、子どもから高齢者まで多くの世代が楽しみ集える魅力ある公園とするため、移動可能な縁台を整備し、「花まつり等」のイベント会場の利便性を図り、更なる振わいを創出する。 ４．簡易テント購入事業：１，２７８千円。簡単に設営できるテントを購入し、スポーツ大会やイベント時の会場設営の簡素化を図り、地域の交流及び活性化を図る。 この地域予算提案事業計画書については、明日の９月２５日に会長が市長へ提出予定である。
事務局	４ その他 （１）会議録の確認について （説明） 事務局より説明。 委員一同に意見を求める。
委員一同	（質問・意見） 質問・意見等なし。 意見等なしのため、会議録について了承とする。
事務局	（２）令和６年度第７回都賀地域会議の開催について （説明） 次回の開催について説明。 令和６年１１月２６日（火）午後７時００分～ 都賀総合支所 別館２階 大会議室予定。

委員一同	(質問・意見) 質問・意見等なし。
委員一同	(3) その他について (質問・意見) 質問・意見等なし。
事務局	5 閉会 以上で本日の会議は終了とする。 ——閉会—— (会議終了時刻 午後7時58分)

別紙１ 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長	大塚	紀通
副会長	辻原	正信
委 員	茅島	淳二
委 員	石本	俊光
委 員	相田	美由紀
委 員	郡司	敦
委 員	直井	茂
委 員	飯嶋	かおる
委 員	関口	精一
委 員	篠崎	正美
委 員	田島	富美子
委 員	山本	文彦

欠席者（委員）

委 員	高野	和枝
委 員	早乙女	英利
委 員	中島	美和

事務局

島田	和行	（都賀地域まちづくりセンター所長）
岡部	学	（都賀地域まちづくりセンター課長補佐）
斉藤	友良	（都賀地域まちづくりセンター課長補佐）
大竹	英喜	（都賀地域まちづくりセンター主査）

その他出席者

吉澤	寿夫	（都市計画課 課長補佐）
石川	陽一	（都市計画課 主任）
見目	教高	（産業基盤整備課 副主幹）
藤本	拓也	（産業基盤整備課 主任）

別紙２ 会議事項

１ 開 会

２ あいさつ

３ 議 事

- (１) 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について 【担当課：都市計画課】
- (２) 栃木市産業基盤成長戦略（素案）について 【担当課：産業基盤整備課】
- (３) 地域予算提案制度の報告について

４ その他

- (１) 会議録の確認について
- (２) 令和６年度第７回都賀地域会議の開催について
令和６年１１月２６日（火）午後７時～ 都賀総合支所 別館２階 大会議室

５ 閉 会

配付資料一覧

令和６年度第６回都賀地域会議次第

資料① 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について

資料② 栃木市産業基盤成長戦略（素案）概要版

資料③ 都賀地域予算提案事業概要（令和７年度実施分）